

日本経済新聞

10月22日

木曜日

テロ車両 バリケード 衝突実験 受け止める

警備用品のトライ・ユ
ー（札幌市）は21日、北
海道美唄市で対テロ車用
バリケード「ヘラクレス」
の衝突実験を公開した。
遠隔操作する無人の車を
ブレーキなしでバリケー
ドに正面衝突させた。実
験データはコンピュータ
ーのシミュレーションに
反映させ、性能向上と新
製品開発に生かす。

停止距離短縮めざす



車の動きを完全に止め
た、トライ・ユートのバリ
ケード（美唄市）

テロ対策のため、実験
中の車のスピードや、バ
リケードによる停止ま
でにかかった距離は非公
表とした。高速道路を走行
中の車を止められるかを
確認できる程度のスピー
ドで実験したという。

1回目は既存製品に衝
突させ、車はエンジンが
停止し、動きが完全に止
まった。車体に傷はつい

たものの、車内に大きな
破損は見られなかった。
同じスピードで急ブレー
キをかけるよりも停止ま
でにかかる距離は短かっ
たという。

2回目は初めて、開発
中の新型バリケードで実
験した。新型は少し小さ
く1人でも持ち運びが可
能。車の動きは止められ
なかったが、強度不足な

どの課題を洗い出した。
ヘラクレスは比較的安
価で設置に手間もかから
ず、YOSAKOIソー
ラン祭り（札幌市）など
も採用された実績があ
る。上杉社長は「データ
を踏まえ改良を進める。

新型も来年4月に製品化
したい」と話していた。
■映像を電子版に▼地
域↓北海道

北海道